

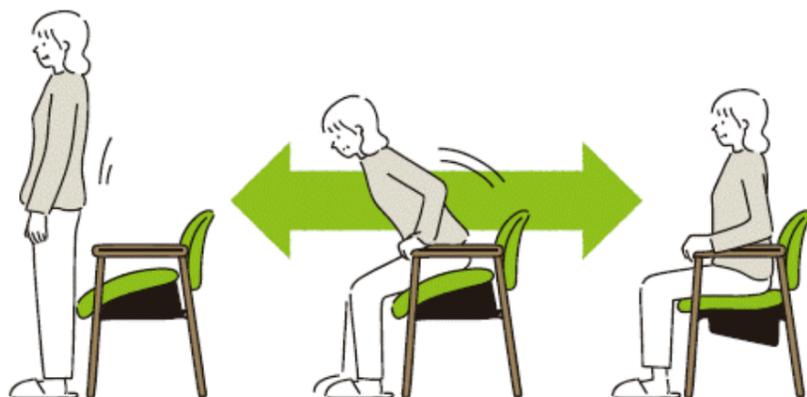
使用上のご注意



◆当製品は、下記の目的でご使用ください。

- 高齢者の方や膝などに障害のある方が、自分の力で立ち上がる動作や座る動作をサポートします。
- 介助する方の腰や背中への負担を軽減します。
- 毎日の適度な起立運動で、足腰を鍛え、筋力の維持を助けます。

◆使い方



座る

・跳ね上がっている座面の中央部にゆっくりと座ると、座面がスーッと下がります。

立つ

・ひとりで立ち上がる時は、両肘を持ってゆっくりと立ち上がってください。

・介助する場合は、介助する方が座っている方の正面に立って手をとり、座っている方が、前方に前かがみになって、おしりを浮かすような動作をすると、負担が軽くなります。

サイズ : 566(幅)×568(奥行)×750(全高)・620(肘高)・435(座高)mm
重量 : 9Kg
許容荷重 : 40Kg～80Kg

フレーム : φ28.6/19.1スチールパイプ・粉体塗装
背 : ポリプロピレン樹脂成型品・ウレタンフォーム
座 : ポリプロピレン樹脂成型品・ウレタンフォーム
ガスシリンダー起立介助機構
肘 : ABS樹脂成型品
張地 : ビニールレザー

この取扱説明書は下記アドレスからも閲覧いただけます。
<http://www.isu-sankei.co.jp/torisetu/tasuke1.html>



株式会社 **サンケイ**

〒513-0017 三重県鈴鹿市上野町字助町48番地 TEL 059-378-0465 FAX 059-378-3719 MAIL info@isu-sankei.co.jp



たすけ
立介
TA・SU・KE
CW01KK-MX

取扱説明書

保管用

このたびは、起立介助チェア「立介」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

自立を助け、介助の負担を軽減する起立介助チェア

高齢化社会という時代背景の中、「いかに健康寿命を延ばすことで日々の生活の質を高めていくか」、「いかに介護、介助する方々の負担を軽減していくか」ということが課題になっています。

日常生活において頻繁に繰り返される「座る」「立ち上がる」という動作をサポートする機能を付加した椅子を使うことにより、自力でできる範囲が増えたり、歩くための筋力が鍛えられ、結果的に意欲や行動力が増して毎日の生活がより前向きになっていけるように。又、毎日繰り返し、介助する方にとっての身体の負担は想像以上に大きく、これらを少しでも軽減できるように。

このような願いを込めて、起立介助チェア「立介[たすけ]」は誕生しました。

目次

安全上のご注意[警告事項].....	2
安全上のご注意[注意事項].....	3
使用上のご注意.....	4

安全上のご注意 必ずお守りください

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。



警告

「死亡や重症を負うおそれがある内容」を示しています。



注意

「けがなど障害を負うおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただきたい内容の種類を次のように区分しています。



必ず実行

必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



禁止



分解禁止

してはいけない「禁止」内容を示しています。

警告



必ず実行

- 下記の方がひとりで使用する時は、正しく使用できるように、保護者や介助者など、正しい使い方を理解している方が、指導、注意、介助してください。
①お年寄り ②体の不自由な人 ③お子様
まちがった方法での使用は、事故やけがをするおそれがあります。
- 周囲に人がいる場所での使用は十分に注意してください。
昇降時に、座面下の可動部に手を入れると、けがをするおそれがあります。
- 座面下の可動部を覆っている安全保護カバーは外さずに使用してください。
手などを挟んで、けがをするおそれがあります。
- 許容体重範囲内(40~80kg)の人が使用してください。
座の昇降機能が正しく作動しないおそれがあります。



禁止

- 座面下の可動部には手や物を近づけないでください。
挟んで、けがや破損をするおそれがあります。
- 踏み台にしたり、肘に座るなど、椅子以外の目的で使用しないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 座面の先端に座らないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 1台の椅子に2人以上で座らないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 逆向きに座らないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 座面の上で立ち上がったたり、飛び跳ねたりしないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 幼児だけで座らせないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。

注意



分解禁止

- 分解・改造は絶対にしないでください。
破損や、けがをするおそれがあります。



禁止

- 座側面の隙間で指や衣服を挟まないように注意してください。
挟んで、けがや破損するおそれがあります。
- 不安定な場所で使用しないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 座面の下に荷物などを置かないでください。
着座時に安全保護カバーが接触して、荷物が破損するおそれがあります。
- 人が座ったまま椅子を移動しないでください。
転倒して、けがをするおそれがあります。
- 異常を感じたら、そのまま使用し続けしないでください。
事故や、けがをするおそれがあります。
- ボルトやネジがゆるんだまま使わないでください。
本体がこわれてけがをするおそれがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。
火災になることがあります。
- この製品は室内、屋内用です。屋外でのご使用はおやめください。
破損や劣化するおそれがあります。
- フローリングや畳のお部屋での使用にはご注意ください。
床を傷付けたりへコミが生じるおそれがあります。
カーペットを敷くなどの対処をしてご使用ください。